

平成25年6月28日

**広島大学附属東雲小・中学校が教育課程研究指定校事業など
3つの研究指定事業に採択されました**

広島大学附属東雲小・中学校では、今年度、教育課程研究指定校事業など3つの研究指定事業に採択されました。

【附属東雲小学校】

○教育課程研究指定校事業<国立教育政策研究所>

- ・研究課題名：共生社会を担う子どもを育てるESDの創造
～異なる価値観に気づき、互いを認め合う子どもの育成をめざして～
- ・実施年度：平成25年度～平成26年度

○インクルーシブ教育システム構築モデル事業（モデルスクール）
<文部科学省>

- ・実施年度：平成25年度

【附属東雲中学校】

○教育研究開発事業<文部科学省>

- ・研究課題名：中学校特別支援学級における社会的・職業的自立を目指した、生活力を育成するためのカリキュラムの研究開発
- ・実施年度：平成25年度～平成28年度

※事業の概要等詳細は、別表1をご覧ください。

なお、今年度、広島大学附属学校で実施している研究指定事業の一覧は、別表2のとおりです。

【お問い合わせ先】

教育・国際室附属学校支援グループ 濱尾 健
TEL:082-424-6964 FAX:082-424-6968

【各事業の概要等】

事業名	事業内容	各学校における研究課題・内容	委託機関	実施年度
【附属東雲小学校】				
教育課程研究指定校事業	幼稚園・小学校・中学校・高等学校等における教育課程や指導方法等の改善・充実を図るため、研究指定校による実践的な調査研究を実施するもの	<p>【研究課題】 共生社会を担う子どもを育てるESDの創造 ～異なる価値観に気づき、互いに認め合う子どもの育成をめざして～</p> <p>-----</p> <p>【研究内容】 「共生」をキーワードに、グローバル化が加速する世界にとって喫緊の課題である“持続可能な開発実現のために必要な能力や態度”を児童に身につけてもらうための指導方法の研究やカリキュラムの構築・実践を行う。</p>	国立教育政策研究所	H25～H26 [新規]
インクルーシブ教育システム構築モデル事業 (モデルスクール)	共生社会におけるインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の実践研究を行い、その成果を普及する	<p>【研究内容】 本校は、単式学級・複式学級(異学年の児童が一つの学級で学ぶ学級形態)・特別支援学級の3つの学級形態が存在する全国唯一の附属学校である。 本校のこの特色を生かし、特別支援学級と複式学級の教科による交流及び共同学習の導入に向け検討を行い、障害のある児童とない児童が共に学ぶことの重要性を明らかにすることにより、インクルーシブ教育システム構築の前提となる交流学級の学級集団づくりを推進する。</p>	文部科学省	H25 [新規]
【附属東雲中学校】				
教育研究開発事業	教育実践の中から提起される諸課題や、学校教育に対する多様な要請に対応した新しい教育課程(カリキュラム)や指導方法を開発するため、学習指導要領等の国の基準によらない教育課程を編成し実施するもの	<p>【研究課題】 中学校特別支援学級における社会的・職業的自立を目指した、生活力を育成するためのカリキュラムの研究開発</p> <p>-----</p> <p>【研究内容】 時代の要請に応じた新たな内容を付加した「キャリアマネジメント」と「グローバルコミュニケーション」を設定し、新たなカリキュラムの開発を行うことによって、グローバル化が一層進行するこれからの社会において将来の就労を含む生活に向けた生活力の育成を目指す。</p>	文部科学省	H25～28 [新規]

平成25年度 附属学校関係研究指定事業

	事業名	事業内容	指定学校名	各学校における研究課題	委託機関	実施年度
1-1	教育研究開発事業	教育実践の中から提起される諸課題や、学校教育に対する多様な要請に対応した新しい教育課程(カリキュラム)や指導方法を開発するため、学習指導要領等の国の基準によらない教育課程を編成し実施するもの	附属三原幼稚園・小・中学校	社会的自立の基礎となる能力・態度及び価値観の体系的な育成のための、幼小中一貫の新領域による自己開発型教育の研究開発	文部科学省	H24～26
1-2			附属福山中・高等学校	持続可能な社会の構築をめざしてクリティカルシンキングを育成する、新教科「現代への視座」を柱にしたすべての教科で取り組む中等教育教育課程の研究開発		H24～26
1-3			附属東雲中学校	中学校特別支援学級における社会的・職業的自立を目指した、生活力を育成するためのカリキュラムの研究開発		H25～28
2	教育課程研究指定校事業	幼稚園・小学校・中学校・高等学校等における教育課程や指導方法等の改善・充実を図るため、研究指定校による実践的な調査研究を実施するもの	附属東雲小学校	共生社会を担う子どもを育てるESDの創造～異なる価値観に気づき、互いに認め合う子どもの育成をめざして～	国立教育政策研究所	H25～H26
3	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)	将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数系教育等を実施する高等学校等を指定。学習指導要領によらないカリキュラムの開発・実践や課題研究の推進、観察・実験を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援	附属高等学校	「科学的な知の体系」の習得と、国際的視野や高度な倫理観の涵養を通して、「持続可能な社会」を先導する人材の育成を図る教育課程の研究開発	文部科学省 ／(独)科学技術振興機構	H24～28
4	SSH科学技術人材育成重点校	地域の中核拠点形成や継続的な海外連携など、科学技術人材育成に係る重点的な取組をSSH本体と一体的な事業として推進するため「科学技術人材育成重点校」を設け、SSH指定校に対して追加の支援を行う	附属高等学校	ESDの視点や国際性を備えた人材及び指導者を育成する研究開発	文部科学省 ／(独)科学技術振興機構	H25～H26
5	インクルーシブ教育システム構築モデル事業(モデルスクール)	共生社会におけるインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の実践研究を行い、その成果を普及する	附属東雲小学校	本校は、単式学級・複式学級(異学年の児童が一つの学級で学ぶ学級形態)・特別支援学級の3つの学級形態が存在する全国唯一の附属学校である。本校のこの特色を生かし、特別支援学級と複式学級の教科による交流及び共同学習の導入に向け検討を行い、障害のある児童とない児童が共に学ぶことの重要性を明らかにすることにより、インクルーシブ教育システム構築の前提となる交流学級の学級集団づくりを推進する	文部科学省	H25